

ベネズエラ経済（2014年 4月）

1 経済概要

（1）政府の各種政策・統計

- ベネズエラ中央銀行は、2013年GDP成長率を昨年末にマドゥーロ大統領が暫定（速報）値として発表していた1.6%から1.3%となった旨発表した。
- マドゥーロ大統領は、優先分野に対し、外貨未決済残高の30%を上限に清算する意向を発表した。

（2）政府予算・財政

- 経済・財務・公共銀行省によると、2014年第1四半期の政府支出は、前年同期の1,070億ボリバルに比し51%増の1,620億ボリバルとなった。
- 経済・財務・公共銀行省の2013年年次報告によると、2005年～2013年における各種基金向け拠出額は総額1,250億米ドルとなった。

（3）石油・天然ガス産業

- 石油鉱業省の2013年度年次報告によるベネズエラ石油公社（PDVSA）売上高は、前年の1,244.59億米ドルに比し6.6%減の1,162.56億米ドルとなった。
- 官報40392号は、167万3,729バレルの新規原油埋蔵が確認された旨公布した。

（4）自動車産業

- ベネズエラ自動車会議所（CAVENEZ）は、加盟全7社の3月の自動車生産台数が前年同月の6,554台に比し78.5%減の1,408台となった旨発表した。

（5）その他産業

- 中国・ベネズエラ二国間基金から604百万米ドルを拠出し2010年からプロジェクトが開始されたJose Felix Ribas火力発電所が稼働した。

（6）外貨発給状況

- 国家貿易機関（CENCOEX）は、法令遵守契約書で謳っていた条件を緩和し、米ドル建てデポジットをボリバル建て100%のデポジット、輸入元国生産地としていた決済先への拘束性を緩和する旨発表した。

2 経済の主な動き

(1) 政府等の各種政策・統計

ア 経済指標（実績）

●2013年GDP成長率

ベネズエラ中央銀行は、2013年GDP成長率を昨年末にマドゥーロ大統領が暫定（速報）値として発表していた1.6%から1.3%となった旨発表した。原油分野及び非原油分野におけるGDP成長率は、それぞれ0.9%、1.8%となった。なお、2013年第4四半期のGDP成長率は、1.0%であった。

（25日付エル・ユニベルサル紙、エル・ナショナル紙、エル・ムンド紙）

●インフレ率

ベネズエラ中央銀行（BCV）は、3月のインフレ率が4.1%となり、本年および年間累積インフレ率が、それぞれ10.1%、59.4%に達した旨発表した。

なお、物資不足率は29.4%となった。

（24日付BCVプレスリリース、25日及び26日付エル・ユニベルサル紙）

●失業率

国家統計局（INE）によると、3月及び4月の失業率は前年同月に比しそれぞれ0.1ポイント、0.8ポイント改善し、7.2%、7.1%となった。

（INEプレスリリース）

●食糧バスケット価格

労働者情報分析センター（CENDA：el Centro de Documentacion y Analisis para los Trabajadores）によると、3月の食糧バスケット価格は前月比6.3%増の7,245.13ボリバルとなった。

（1日付CENDAプレスリリース）

●最低賃金引き上げ

マドゥーロ大統領は、5月1日から最低賃金を30%引き上げ4,251.39ボリバルとする旨発表した。

（30日付エル・ユニベルサル紙、エル・ナショナル紙、ウルティマス・ノティシアス紙）

●社会進歩指数

米国シンクタンクであるSocial Progress Imperativeは、社会進歩指数調査の結果を発表し、ベネズエラは全132カ国中130位となった。

（7日付エル・ユニベルサル紙）

イ 経済指標（見通し）

●2014年GDP成長率

IMFは、2014年及び2015年のGDP成長率見通しをそれぞれマイナス0.5%、マイナス1.0%、インフレ率見通しをそれぞれ50.7%、38%と発表した。

(9日付エル・ウニベルサル紙)

ウ 各種政策・規制・規則

●外貨清算計画

マドゥーロ大統領は、優先分野に対し、外貨未決済残高の30%を上限に清算する意向を発表した。

(24日付エル・ウニベルサル紙, エル・ナショナル紙, エル・ムンド紙)

●新経済政策

ベネズエラ政府は、(国内)生産増加、物資の安定供給、及び公正価格の3つを柱とする新経済政策を発表した。

(23日付エル・ウニベルサル紙, エル・ナショナル紙, エル・ムンド紙)

●「経済戦争」第二段階

マドゥーロ大統領は、石油依存モデルから脱却し、新たな経済モデルを推進するべく、経済戦争における戦いが第二段階に入り、国内生産、消費やサービスの供給と適正な価格での販売との均衡を取る、第二段階では基幹産業である石油、石油化学、建設、工業、農業、観光、繊維、鉱業、製造業、通信、ハイテクの11分野の生産を満たすことを意図しており、政府は企業が必要とする資金・外貨を有している、コロンビアへの食糧密輸に関連するマフィアに対し、調査を進めている等発表した。

(28日付エル・ウニベルサル紙, エル・ナショナル紙)

●為替取極28号公布, 同11号及び26号の修正

官報40387号は、「新為替取極28号 (Convenio Cambiario No.28)」を公布した。また、官報40391号は、為替取極11号及び26号の修正を公布した。

(7日付官報40387号及び10日付40391号)

エ 組織・人事

●外貨管理委員会 (CADIVI) 機能の移管

官報40393号は、2014年12月31日まで(1年の延長可)にCADIVI機能を国家貿易機関 (CENCOEX) へ移管する旨公布した。

また、官報40394号にて、CADIVI廃止委員会を創設する旨公布した。

(14日付官報40393号及び15日付官報40394号)

オ 貿易統計

●対コロンビア輸入

コロンビア国税・関税庁 (DIAN) によると、2014年3月のベネズエラのコロンビアからの輸入額は前年同月の155.3百万米ドルに比し、42.1%減の89.9百万米ドルとなった。

(14日付エル・ムント紙)

カ 政府ミッション進捗

●住宅ミッション

住宅省によると、第1四半期の住宅建設数は前年同月の23,700戸に比し65%減の8,128戸となった。なお、引き渡し戸数は、前年同期の15,570戸に比し8,127戸となった。

(4日付及び7日付エル・ウニベルサル紙)

キ 対外関係

●中国

マドゥーロ大統領は、大統領府にて、王毅中国外交部長と会合を行い、政治的相互信頼関係の発展、様々なレベルにおける人的交流の促進、両国の関心分野における確固たる支持、及び農業、エネルギー、インフラ建設、テクノロジー等の分野における融資協力関係の強化等で合意に至った。

(21日付当地外務省プレスリリース)

(2) 政府予算・財政

ア 税収

●4月徴税額

租税監督庁 (SENIAT) によると、4月の徴税額はそれぞれ前年比61.3%増の320.6億ボリバルとなった。

(28日付SENIATプレスリリース)

●所得税

租税監督庁 (SENIAT) によると、第1四半期の所得税収は予算242億ボリバルに対し、356.6億ボリバルであった。

(1日付エル・ムント紙及び2日付ウルティマス・ティティス紙)

イ 追加予算

4月の国会（財務・経済開発委員会）による追加予算承認額は、453.31億ボリバルとなった。

(1日付官報40384号、8日付官報40389号、22日付官報40396号、及び23日付官報40397号))

ウ 公的債務

●2013年残高

経済・財務・公共銀行省によると、2012年及び2013年の公的債務残高は以下

のとおりとなった。

単位:US\$億(相当)

	対内債務	対外債務	合計	PDVSA債務
2012	593	454	1047	400
2013	704	448	1152	433
増減(%)	19	▲ 1	10	8

(21日付エル・ユニベルサル紙から当館表作成)

エ 2014年第1四半期政府支出

経済・財務・公共銀行省によると、2014年第1四半期の政府支出は、前年同期の1,070億ボリバルに比し51%増の1,620億ボリバルとなった。

(8日付エル・ユニベルサル紙)

オ ペネズエラ石油公社 (PDVSA) によるペネズエラ中央銀行 (BCV) 向け債務残高

3月28日時点におけるBCVによるPDVSA及び国営企業向け財政支援額は4,616億ボリバルに達している。

(11日付エル・ユニベルサル紙)

カ 法定準備率

官報40382号は、4月1日から法定準備率を1%引上げ21.5%とする旨公布した。

(1日付エル・ナショナル紙)

キ 政府による助成金

エル・ムンド紙の調査によると、天然ガス及び電力分野に対する政府の助成金は、年間でそれぞれ240億米ドル、47億米ドルであった。

(2日付エル・ムンド紙)

ク 各種基金向け拠出額

経済・財務・公共銀行省の2013年年次報告によると、2005年～2013年における各種基金向け拠出額は総額1,250億米ドルとなった。そのうち、国家開発基金 (FONDEN) は総額1,167.16億米ドル受領している。

なお、2013年国家開発基金 (FONDEN) 向けの拠出額は前年の146.03億米ドルに比し、143.72億米ドルとなった。

(10日付エル・ムンド紙及び19日付エル・ユニベルサル紙)

ケ PDVSAによる社会開発ミッション向け拠出額

PDVSAによると、2013年の社会開発ミッション向け拠出額は前年の121億米ドルに比し41%減となる72億米ドルとなった。

(20日付エル・ユニベルサル紙)

(3) 石油・天然ガス産業

ア 原油生産・精製・輸出・輸入動向

●生産量

OPEC データによると、3月のベネズエラの原油生産量は、前年同月の日量平均274.5万バレルに比し4.1%増の日量平均285.8万バレルであった。

(OPEC ホームページ)

●精製量

石油鉱業省の2013年度年次報告によると、2013年の原油精製量は前年に比し1.16%増の日量平均129.9万バレルとなった。

(14日付エル・ユニベルサル紙)

●石油製品輸出量

石油鉱業省の2013年度年次報告によると、2013年の石油製品輸出量は前年に比し42%減の日量平均32.3万バレルとなった。

(14日付エル・ユニベルサル紙)

イ 対外取引

●対米国

米国エネルギー情報局によると、1月の米国によるベネズエラ産原油輸入量は、68.7万バレルとなった。なお、97年1月の同輸入量は、190万バレルであった。

(7日付エル・ムント紙)

●対ペトロカリベ

石油鉱業省による2013年年次報告によると、2013年のペトロカリベ向け原油輸出量は日量平均12.2万バレル、インボイス金額は44.3億米ドルとなった。なお、2013年にペトロカリベ諸国からの代物返済は、609百万米ドルであった。

(11日付エル・ユニベルサル紙)

ウ 融資の合意状況

ベネズエラ Suelopetrol 社は、ベネズエラ石油公社 (PDVSA) との合併企業である Petrocabimas 社向けに625百万米ドルの融資の合意に至った。

(4日付エル・ユニベルサル紙)

エ 石油鉱業省による2013年年次報告

石油鉱業省の2013年度年次報告によるベネズエラ石油公社（PDVSA）の営業内容及び決算概要以下のとおり。

●原油生産・輸出動向

- ・原油生産は、前年の291万バレル／日に比し0.7%減の289万バレル／日、輸出量は、前年の257万バレル／日に比し7.0%減の239万バレル／日となった。
- ・国内石油需要は、火力発電用と自動車用の需要が伸び前年の59.1万バレル／日に比し4.4%上昇し、61.8万バレル／日となった。

●PDVSA決算内容

<損益計算書>

- ・売上高は、前年の1,244.59億米ドルに比し6.6%減の1,162.56億米ドルとなった。なお、ラミーレス石油鉱業大臣は、売上高減少の要因分析として、ベネズエラ産原油価格が2012年の103.42米ドル／バレルから101.40米ドル／バレルへ2ドル低下したことが影響した旨述べた。
- ・純利益は、前年の42.15億米ドルに比し、371%増の198.53億米ドルとなった。純利益増加は、2013年2月に1米ドル＝4.3ボリバルから1米ドル＝6.3ボリバルへの平価切下げによる為替差益99.7億米ドル等を計上したことが影響した。
- ・社会開発費や国家開発基金（FONDEN）等への拠出は、前年の173.36億米ドルから18.3%減の141.68億米ドルとなった。

<貸借対照表>

- ・売掛金残高は、前年比55%減の189.08億米ドル、買掛金残高は、前年比17%増の196.25億米ドルとなった。

（10日付エル・ユニバル紙及び14日付エル・ムント紙）

オ 新規原油確認埋蔵量

官報40392号は、167万3,729バレルの新規原油埋蔵が確認された旨公布した。この結果、総原油確認埋蔵量は2,983.5億バレルとなった。

（11日付官報40392号）

（4）自動車産業

ア 生産・組立/販売台数

ベネズエラ自動車会議所（CAVENEZ）は、加盟全7社の3月の自動車生産台数が前年同月の6,554台に比し78.5%減の1,408台となった旨発表した。

他方で、3月の国内生産車、輸入車の国内販売台数は、前年同月に比しそれぞれ78.3%減の1,659台、99.7%減の15台となった。

(8 日付 CAVENEZ 発表)

イ 2013 年中国製 Chery 車輸入台数

商業省の 2013 年年次報告によると、中国との二国間協定に基づく中国製 Chery 車の輸入台数は 3,182 台（134.5 百万ボリバル相当）であり、うち 1,680 台が公務員向けに割り当てられた。

(14 日付エル・ナショナル紙)

ウ 公正価格遵守契約への合意

ベネズエラトヨタ、MMC、及び Chrysler は政府との間で公正価格遵守契約の合意に至った。

(25 日付エル・ユニベルサル紙、エル・ナショナル紙、エル・ムンド紙)

(5) その他

ア 電力

●電力システム強化

マドゥーロ大統領は、電力システム強化に向け 373 百万米ドルの予算を承認した。

(3 月 31 日付エル・ムンド紙)

●火力発電所の稼働

中国・ベネズエラ二国間基金から 604 百万米ドルを拠出し 2010 年からプロジェクトが開始された Jose Felix Ribas 火力発電所が稼働した。

(5 日付エル・ユニベルサル紙)

イ セメント

カベージョ産業大臣は、セメント増産に向け 850 百万米ドルの投資予算を承認した。

(7 日付エル・ユニベルサル紙)

ウ 観光

観光業界の情報によると、2013 年の海外旅行客受入数は、前年の 782,686 人に比し 17.7% 減の 643,822 人となった。

(14 日付エル・ユニベルサル紙)

エ 食糧

オソリオ食糧大臣は、4 月 1 日から開始された食糧供給システムへの登録者数が 259,732 人となった旨述べた。

(14 日付エル・ユニベルサル紙)

オ 医療

国家統計局（INE）によると、2013年のキューバからの医薬品輸入額は176百万米ドルとなった。

（20日付エル・ユニベルサル紙）

（6）外貨発給状況

ア SICAD

●SICAD 1

ベネズエラ中央銀行（BCV）によると、4月のSICAD 1による合計3度の競売実績は、総額5億7,348万7,218.97米ドルであった。

（BCV/CENCOEXプレスリリース）

●SICAD 2

・Barclaysは、SICAD 2による年間外貨供給量見通しを発表し、当初の116億米ドルから84億米ドルへ修正した。

（7日付エル・ユニベルサル紙）

・エコアナリティカ社によると、運用開始後23日間での割当額は、987百万米ドルとなった。

（26日付エル・ナショナル紙）

イ 法令遵守誓約書

国家貿易機関（CENCOEX）は、法令遵守契約書で謳っていた条件を緩和し、米ドル建てデポジットをボリバル建て100%のデポジット、輸入元国生産地としていた決済先への拘束性を緩和する旨発表した。

（2日付エル・ユニベルサル紙）

ウ 2013年外貨発給額

2013年外貨発給額は以下のとおりとなった。

単位：US\$百万			
	2012	2013	比
外貨発給総額	33,154	29,747	▲ 10.3%
輸入（ALADI/SUCRE含）	26,018	21,127	▲ 18.8%
輸入（経常部分）	18,179	14,948	▲ 17.8%
－ 保健	3,720	2,928	▲ 21.3%
－ 食糧	4,842	4,624	▲ 4.5%
－ その他（*1）	9,616	7,395	▲ 23.1%
旅行者向け	3,330	5,113	▲ 53.5%
家族向け	874	1,079	▲ 23.5%
留学向け	440	525	▲ 19.3%
年金向け	99	103	▲ 4.4%
通信向け	224	156	▲ 30.5%
外交団向け	90	78	▲ 14.2%
その他	612	275	▲ 55.0%

出典：9日付エル・ユニベルサル紙・エル・ムント紙

*1. 商業・機械・化学・プラスチック・建設・出版・印刷・通信
繊維・科学・家電等